

子どもと大人と一緒に学ぶ『昭和の食・歴史・仕事・防災』

おかやま昭和暮らしプロジェクト

活動の目的

地域の繋がりが「お互いさま」の関係性が保たれたコミュニティや自然の恵みを生かした暮らしには、お金や流通に頼った「隣の人がどんな人か分からない」都市部の暮らしとは違い、今後の持続可能な社会へ向けたヒントがたくさんある。その「繋がりのある暮らし」を子どもたちに伝えることで、将来を切り開く力や、地域をまとめていくリーダーシップを培うことができる。また異世代との交流を持つことで多様な見方や、自身への肯定感が持てる。昭和地区に元々ある「地域力」を生かしながら地域内の人たちが生き生きと暮らせるような場＝子どもがのびのびと成長していく場を成熟させることができる。

活動の内容及び経過

老若男女、地域の方にご活躍いただき、全10回の催しができた。

- 6月21日 第1回「近藤ばあばのせんそうのはなし」
参加者 大人20名+子ども39名。
- 8月21日 第2回「おしごと体験さわやか喫茶を手伝おう！」
参加者 子ども6名。歌とダンスの出演多数。
- 10月23日 第3回「昭和産コットンで糸つむぎの会おとなの部」参加者 6名。
- 11月3日 第4回「大角さんとイノシシと宇山の暮らし」
参加者 大人21名+子ども27名。
- 11月6日 第5回「ともみさんとイングリッシュブレックファストの会」参加者11名。
- 11月15日 第6回「昭和産コットンで糸つむぎの会こどもの部」参加者9名。
- 12月2日 第7回「槻で作った菜種油を味わう会」
参加者 大人17名+子ども23名。
- 12月9日 第8回「文子さんとそばがらこんにやくづくり」
参加者 大人9名+子ども5名。
- 3月7日 第9回「土砂災害のきほんを学ぼう」
参加者 大人22名+子ども44名。
- 3月27日 第10回「大角さんとキノコの会」
参加者 大人9名+子ども10名。

活動の成果・効果

昭和という地域の宝物（人や経験、生きた知恵、自然の恵みなど）を地域の子もたちや大人、昭和地区に興味のある方にお伝えすることができた。普通に町で暮らしてはなかなか体験できない企画にたいへん喜ばれた。定期的で開催したことでリピーターもできた。地域の方にも当プロジェクトが空家の紹介だけではなく昭和の魅力を発掘



しようと取り組んでいることを知っていただくことができた。

今後の課題と問題点

こんなにより企画があったならもう少し宣伝して欲しかったという声があった。学校を中心にチラシを配布させていただいたが、それだとお子さんやお孫さんがいないと届かないということがあった。

そして、まだまだ取り上げきれしていない昭和の魅力がある。

- 代表者：山田ゆきえ ●所在地：総社市久米
- TEL：090-6434-5829
- E-MAIL：okayama.kurashi@gmail.com
- URL：http://showagurashi.net/
- 設立年：2014年 ●メンバー数：5名